

平成 28 年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
語学・大学留学コース
1 月レポート

今枝沙織

「新学期がはじまって」

あけましておめでとうございます。早いもので留学も折り返し地点となりました。

今月は新学期の始まりということで、アメリカの編入事情について紹介したいと思います。アメリカは日本と比較して、大学の編入が盛んです。授業に満足できなかったり、他に大きなチャンスがあると、他大学に編入し、勉強する環境を変えることは一般的です。また、コミュニティーカレッジと呼ばれる 2 年制大学(日本の短大にあたる)から、4 年制大学への編入も多いです。

フィンドレー大学では 2 年生への進学率は 78%、卒業率は 56%となっており、入学した生徒のうち半数近くが、他の大学へと転校したり、他の道へと進んだりしています。私のクラスでも、数名の入れ替わりがありました。日本のように、年度の終わりや、卒業式と一緒に迎えることが出来ないことを寂しく感じる一方で、元クラスメイトがアメリカ中の大学で学びたいことを学んでいる事は、とても喜ばしく感じます。私も初心を思いだし、気を引き締めて勉強していこうと思います

「大雪」

私の住むフィンドレーは、アメリカ北部に位置し、冬の寒さが大変厳しいです。近頃は最高気温が -10°C を下回ることも多く、雪は常に足首よりも深く積もっています。しかし、今年はこれでも暖冬といわれており、3 年前は -30°C を下回り、スーパー等も閉店となったそうです。



大雪の前日のキャンパス

「ホームパーティー」

教授からホームパーティーに招いて頂きました。韓国のご夫婦がプルコギを持ってきてくださったり、ベジタリアンパスタが出されたりと、アメリカの多様性が楽しめる食事でした。驚いたことは、乾杯をする前からお酒を飲み始める事です。ビールのビンを手渡された後、乾杯を待っていると、どうして飲まないのかと心配されてしまいました。



色々な国の料理

「年越し」

2017年への年越しは、タイムズスクエアでのイベントに参加しました。世界中の観光客が集まるイベントであり、当日は朝早くから入場規制がかかります。私は場所取りの為に午前10時にホテルを出発しました。年越しまでの14時間を寒い屋外で過ごしたことは一生忘れる事の出来ない思い出です。

アメリカの年越しが、私の参加したイベントに限らず、非常ににぎやかなことに驚きました。家族と静かにクリスマスを過ごし、にぎやかに年末年始を過ごす様子は日本とは対照的だと感じました。



タイムズスクエアの年越しの様子